

(様式第3号)

平成25年度調査研究中間報告書(平成24年度実績)

調査研究課題	カンピロバクター属菌の PFGE 法 (パルスフィールドゲル電気泳動法) を用いた疫学に関する調査研究
計画期間	平成24年度～ 27年度 4年間
調査研究計画	・県内で分離されたカンピロバクター属菌について, PFGE 法を用いた疫学解析を検討する。
進捗状況	・平成23年度に衛生研究所に搬入された食中毒由来および認定小規模食鳥処理場由来 <i>Campylobacter jejuni</i> 57 株について, 制限酵素 <i>Sma</i> I および <i>Kpn</i> I をそれぞれ単独で用いた PFGE 法を行い, その有効性を検討した。 ・さらに制限酵素 <i>Sfi</i> I および <i>Ksp</i> I をそれぞれ単独で用いた PFGE 法を行い, 最適な条件を検討した。 ・平成24年度に衛生研究所に搬入されたカンピロバクター属菌を収集・保存した。
これまでの成果の概要	・PFGE 法は血清型別不明株の型別が可能であること, 異なる食中毒事例から同じ遺伝子型を示す菌株が発見されたことなどから, PFGE 法は血清型別より正確な疫学解析ができることを確認した。 ・単独で用いた制限酵素では <i>Ksp</i> I が最も解析に適した結果が得られた。 ・食中毒事例由来および認定小規模食鳥処理上由来, 食肉由来の <i>C.jejuni</i> 84 株, <i>C.coli</i> 14 株を収集・保存した。
今後の計画・課題対応方法	・引き続き PFGE 法を用いた疫学解析の有効性を検討するとともに, その最適な条件を模索する。 { 1, 制限酵素の種類や温度, 時間などの条件の検討 { 2, PFGE 法を用いた <i>C.coli</i> の疫学解析の実施 ・平成25年度に細菌部へ搬入されたカンピロバクター属菌を収集する。

※ 研究成果等の資料があれば添付すること。